

# 大田区自立支援協議会 就労支援部会議事録

文責：酒井（事務局一部修正）

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 就労支援部会（第8回）			
(2) 開催日時	平成28年12月19日（月）15:00～17:00			
(3) 開催場所	HK-201 会議室			
(4) 出席した委員、事務局	部会長：鶴田雅英			
	志村陽子	中野真弓	別所孝治	大内伸一
	小平真理	國分由記枝	根本真理子	森村明香
	岩本朋恵	田中由紀	酒井弘美	
	区職員			
	関係者			
	事務局	木伏正有 徳留敦子 滝本裕弥		
欠席者	関香穂利 都丸利奈子 小林清一 富永眞也 富田文子 山田達也 広瀬健次郎 村田亮			
(5) 内容・要旨	<p>●内容</p> <p><b>1. 各委員・各ネットワークからの報告</b></p> <p>① 全体討議会の報告 第2回全体討議会が、12月5日に障がい者総合サポートセンターで開催された。詳細は大田区ホームページに議事録が掲載されているため参照のこと。協議会への障がい当事者の参加を促していくためには、会議の前後に議事に関する事などのフォローを行う必要があるとの意見があった。</p> <p>② 障がい児・者実行委員会からの報告 12月3日（土）、こらぼ大森にて、NPO 法人大森コラボレーションの障がい児・者実行委員会によるドキュメント映画「逃げ遅れた人たち」の上映会が開催された。東日本大震災時の障害者を取り巻く状況についての内容。当事者・支援者が町内会の防災訓練に積極的に参加し、存在感を示す必要がある。災害時の対策について、避難所から福祉避難所への移動や優先順位の問題等、考えられるところから検討すべきである。</p> <p>③ 西蒲田・池上地区高齢者・障害者施設交流会の報告 12月3日（土）、西蒲田・池上地区の高齢者・障害者施設交流会が開催された。地域在宅医療を行っている医者に来てもらい講演会を行う。町会の方や訪問診療の利用者等20名以上が参加した。</p> <p>④ 高次脳機能障害連絡会の報告 12月8日（木）、障がい者総合サポートセンターにて、平成28年度第2回高次脳機能障害連絡会が開催された。第1回の会議以降で今年度実施するとしていた事業がまだ開始されていないこと等について、質問や意見が多数あった。</p> <p>⑤ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● LITALICO ワークス蒲田でのイベント紹介</li> <li>● 大田区知的障害者育成会広報誌「しずく」の紹介</li> <li>● おおたT Sについて（触法障害者支援）</li> </ul> <p>毎月第3木曜日さぼーとぴあにて定例開催。12月はステップ夢の事業説明名等を行った。3月には一周年イベントを計画している。</p>			

- 城南地区ナカポツハローワーク合同会議（ナカハロ会議）について  
11月30日（水）に城南地区の大森・品川・渋谷のハローワークと城南地区の就労支援センター及び障害者就業・生活支援センター「アイ-キャリア」との連携会議。今回は初の試みとなった。今後も年に数回開催し、情報交換等を行っていく。
- 働く精神障害者のメッセージ発信事業について  
来年2月に、大田区内在住で、大田区職場体験実習を経て現在就労している方が講演会にて自身の経験を発表することになったとの報告。
- 作業所ネットワーク都全大会議の報告  
12月12日（月）に開催、会議では障害者優先調達推進法に基づき、いかに官公庁からの受注を受けるかをテーマに討議が行われた。

## 2. 事務局からの報告

### ① 就労促進担当者会議の報告（資料）

第9回大田区障害者就労促進担当会議が、12月13日に障がい者総合サポートセンターで開催された。今月の学習会では「障害年金制度について」をテーマに、障害年金の概要や申請・更新時のポイントについて確認した。

### ② 職場体験実習実行委員会からの報告（資料）

第5回職場体験実習報告会が、1月19日（木）に障がい者総合サポートセンターで開催される。今年度の職場体験実習は10箇所の実習先で計33名の方が体験実習に参加し、当事者の方々による報告会となる。今年度は、報告会前に、当事者によるプレ発表会とグループ討議を予定しており、1月19日の報告会当日に向け事前準備日を設けることとなった。

### ③ 雇用事例検討会の報告

12月8日（木）、障がい者総合サポートセンターにて実施。今年度が初めての企画となる。65歳の定年退職を間近にした例で、企業と福祉の連携によるハッピーリタイアに向けた取り組み事例と課題が報告された。また、知的障がい者では、30代から機能低下がみられることもあることから、企業がどのようにチェックし、機能維持やキャリアダウンを検討していくかの意見交換を行った。

## 3. 企業就労以外の多様な働き方の検討

### ① ゲストスピーカー：一般社団法人 事業所ひだまり

施設長ご本人が脳梗塞により左片麻痺、高次脳機能障害をもちながら、大田区に開設したA型事業所。事業所の利用者の現状や作業内容等の説明と今後の課題について報告がある。作業内容はPCでのデータ入力や軽作業等が中心である。施設長のこれまでの人脈を生かして、企業から費用効率のよい作業を請け負っている。利用者の一般企業就労に向けた就労支援も行っており、今後は利用者への就労意欲の喚起や、継続して給与を支払うための作業受注が課題であるとのことであった。

### ② ゲストスピーカー：株式会社プレスト

池上にて就労継続支援A型事業所を運営している。事業所の業務内容と利用者数や今後の課題について報告がある。業務内容は区内外のコインパーキングにあるカーシェアリング車両のメンテナンスが中心である。複数人がチームを組んで行うことで、丁寧な仕事ができ、受注元からは高い評価を得ている。今後の課題としては、利用者の収入をいかに上げるかということや荒

天時に屋内にて行る仕事を切り出すことであるとの話があった。

#### 4. その他

① 公開セミナーに向けての準備

平成 29 年 2 月 2 日 (木)、サポートセンター5 階にて行う。テーマを「多様な働き方を考える」とすることとなり、作業部会を中心に講師を検討していくことになった。

② 10 月・11 月のゲストスピーカーの振り返り

10 月「JOBOTA」11 月「都立蒲田高校」をゲストスピーカーに招き、新しいネットワークの構築について検討した。各分野ともこれまで関わりが少ない機関であったため、今後の連携のきっかけとすることができた。

#### 5. 次回日程

平成 29 年 1 月 16 日 (月) 15 時～17 時

HK-201 会議室